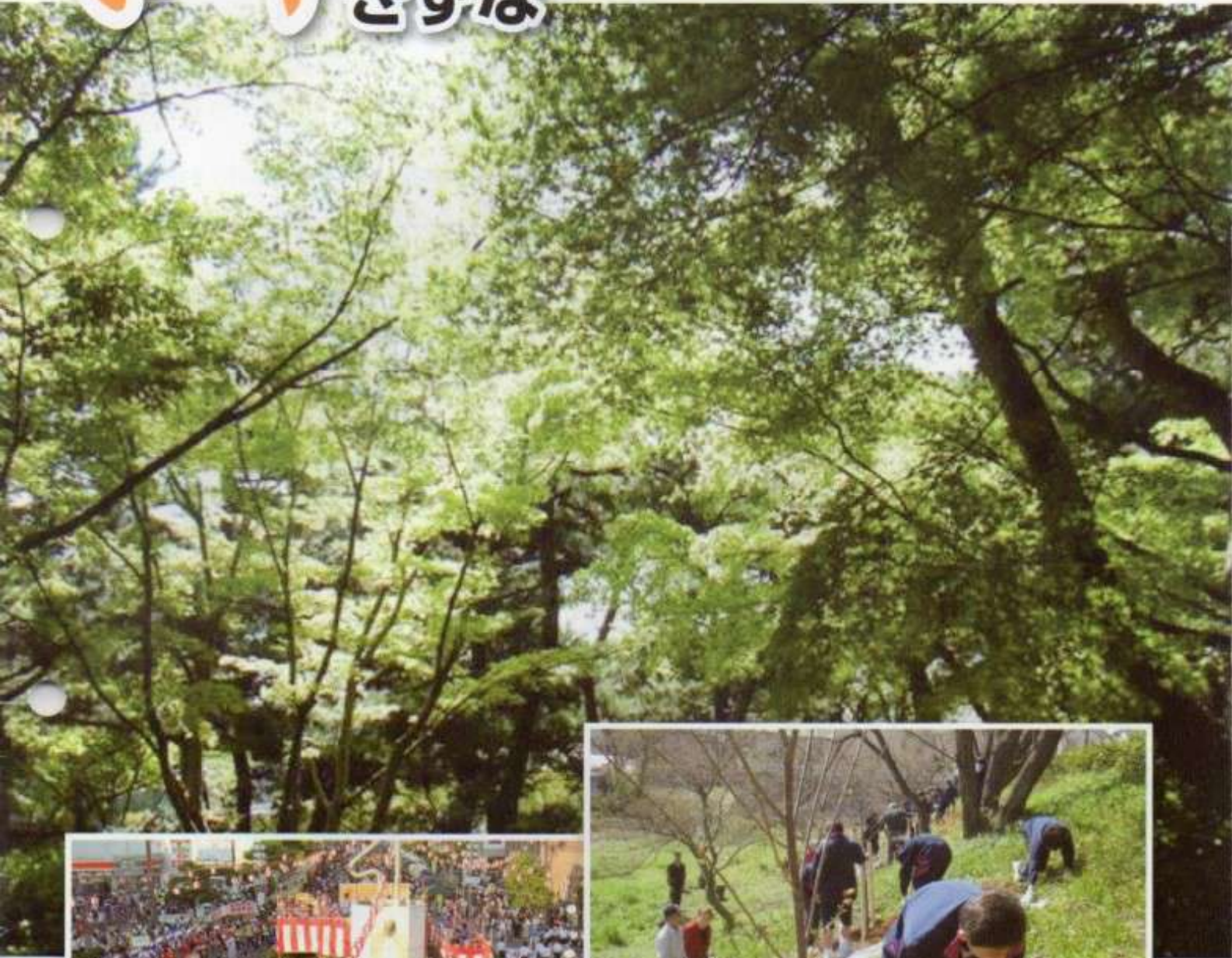




絆

きずな

助け合う 家庭と地域を 創造しよう！



大府コミュニティ 創立30周年記念誌

■ contents

会長あいさつ・市長祝辞	1
大府コミュニティ30年のあゆみ	2
大府コミュニティ組織図	4
大府コミュニティ歴代会長・役員	5
全体活動紹介	6
活動紹介(広報部会)	7
// (家庭教育部会)	8
// (環境部会)	9
// (健康部会)	10
// (文化福祉部会)	11
地域活動紹介	12
これまでの、そしてこれからの大府コミュニティ	13
編集後記	17



ごあいさつ



大府コミュニティ推進協議会 会長
深谷 貢

昭和58年7月に大府コミュニティ推進協議会が設立され、ここに30周年を迎えることができました。これも大府市、歴代コミュニティ役員並びに会員の皆様や、地域内の商店・企業、自治会等の皆様方の長年にわたるご支援、ご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

この10年を振り返ってみますと、大府夏まつり、公民館まつり、花の植え替えなどのさまざまな事業に、会員だけでなく中学生ボランティアなどの参加も定着し、地域活動の輪を広げることができました。

また、平成18年度から始まった自治区事業の安心安全青色パトロール（見守り隊）においても、小学生の下校時や、夜間巡回パトロールなどの防犯活動として、コミュニティとしても積極的に参加協力しております。

コミュニティは、人と人との出会い、ふれ合い、そして多くの方々と交流することによって、地域全体の連帯感を家族のように高めていける場であると思います。またコミュニティ活動は、できる範囲の時間と活動であればどなたでも参加できます。住民の皆様にもぜひ各行事に参加して、その楽しさを肌で感じていただけたら幸いです。

30周年の節目を会長として迎えらることに感謝しつつ、これからも諸活動に取り組んでまいりますので、今後とも役員及び会員の皆様方のこれまで以上のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げて、ごあいさついたします。

30周年を祝して



大府市長
久野 孝保

このたび、大府コミュニティ推進協議会が発足30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協議会は、昭和58年に発足以来、環境美化、交通安全、地域防災や青少年の健全育成等、積極的に活動してこられました。また、地域住民の繋がりが希薄になる中において、機関紙「ふれあい」の発行を始め、夏まつりや区民運動会といった、地域住民の交流事業を積極的に展開されるとともに、老人福祉施設への慰問活動にも取り組んでこられ、地域福祉の向上にも着実な成果を挙げられています。これもひとえに歴代役員各位を始め、皆様方の地域を愛する心、熱意の賜物と敬意を表する次第です。

大府地区は、本市の玄関口として発展を続けていますが、今後ますます「絆」「縁」を大切に、ずっと住み続けられる地域としての期待も高まっております。本市といたしましても、住み慣れた地域で、子どもから高齢者まで誰もがずっと住み続けられる「幸齢（こうれい）社会」の実現に向けて努力してまいります。

この30周年を機に、この大府コミュニティ推進協議会がますます発展されることをご期待申し上げるとともに、地域の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのごあいさついたします。

大府コミュニティ30年のあゆみと社会の動向(平成3年～現在)

平25	大府コミュニティ30周年記念式典
平24	全国花のまちづくりコンクール入選
平23	大東小学校植樹交流(ハナモモ植樹)
平22	講演会「私の履歴書 教育現場から見る今昔」大府中学校長細谷正明氏
平21	大府小児童とハトリボール対面式
平19	緑花推進モデル地区に指定され、事業実施
平18	木曾三川公園はなの里研修会
平17	講演会「郷土の童話作家南吉」講師 沢田恭彦氏
平16	青少年健全育成事業「オリンピック金メダリスト伊調馨を囲む会」
平15	大府コミュニティ20周年記念式典
平14	愛知県知事より感謝状
平13	第20回 大府夏まつり開催
平12	東海警察署長より感謝状
平11	グラウンドゴルフ大府地区予と大会開催
平10	大府小学校区ネットワーク連絡会開催
平9	大府地区まちづくり委員会「大府地区まちづくり計画書」策定
平8	「大府小学校区ネットワーク」開設
平7	青少年健全育成フォーラム「青少年の夢を育てるために」講師 前中義氏
平6	わかしゃち国体で空き缶看板を体育館入口に設置
平5	大府コミュニティ10周年記念式典開催
平5	チャリティ料理教室開催 講師 宮本和秀氏
平3	東山コミュニティ発足により東山学区分離

平25	ポートフィリップ市姉妹都市提携20周年
平24	レスリング吉田沙保里金メダル祝勝パレード
平24	大東小学校開校
平23	おおふムービーチャンネル開局
平22	みんなで美しいまちをつくる条例施行
平21	市民活動センター開館 共和東保保育園運営
平20	岩手県遠野市と災害時相互応援協定締結
平19	中学校卒業までの医療費無料化開始
平18	協働のまちづくり推進条例策定
平17	発達支援センターおひさま開設
平16	伊勢木雨水ポンプ場・二ツ池セリトナ開館
平15	子どもステーション開館
平14	大府駅自由通路エレベーター供用開始
平13	市役所開庁時間延長サービス開始
平12	東海豪雨市役所庁舎竣工
平10	市営平地住宅建設
平9	森岡公民館 長草保育園運営
平8	大府南中学校開校
平7	石ヶ瀬児童老人福祉センター開館
平6	都市計画マスタープラン策定
平5	豪州セントキルダ市と姉妹都市提携
平5	いきいきプラザ・デイサービスセンター開館

平25	東京五輪招致決定 伊勢神宮式年遷宮
平24	第二次安倍内閣誕生
平24	東京スカイツリー竣工
平23	東日本大震災発生
平22	高速道路無料化社会実験
平21	米国バラク・オバマ大統領就任
平20	世界同時不況リーマンショック
平19	能登半島沖地震 新潟県中越沖地震
平18	関がわ自治体自立支援法施行
平17	日本国際博覧会「愛地球博」開催
平16	自衛隊イラク派遣
平15	日本郵政公社設立
平14	W杯サッカー日韓共同開催
平13	アメリカ同時多発テロ発生
平12	介護保険制度開始
平11	地域振興券交付
平9	消費税率5%にアップ
平8	0157食中毒事件
平7	阪神・淡路大震災
平5	細川連立内閣発足
平4	バブル景気終結
平3	湾岸戦争勃発

大府コミュニティ30年のあゆみと社会の動向(創立～平成3年)

大府コミュニティのあゆみ	
昭58	大府コミュニティづくり設立準備委員会発足
昭58	大府コミュニティ推進協議会設立総会開催(初代廣羽益会長就任)
昭58	第2回大府夏まつり開催
昭58	第10回区民運動会花いっぱい運動
昭58	クリーン運動(ごみゼロ運動)
昭59	機関誌「ふれあい」創刊号発行
昭60	ふるさとこの道親子歩け歩け大会開催
昭61	大府コミュニティ推進協議会シンボルマーク決定
昭61	青少年健全育成地域ぐるみ推進の啓発
昭62	石ヶ瀬コミュニティ発足により石ヶ瀬学区分離
昭62	防犯キャンペーン夏のパトロール実施
昭62	大府駅開業百年記念ビッグサマーフェスティバル
昭62	インディアナカ教室開催
昭63	青少年健全育成フォーラム「夢中で夢見る私」講師 平井美代子氏
昭63	第15回大府コミュニティ運動会
昭63	地域の独り暮らし老人と昼食を共にしての語りい会
平元	大府小学校児童のあいさつ運動啓発「標語とポスター」の展示
平元	大府老人ホーム慰問
平2	民生委員を通じての寝たきり老人のお見舞い
平2	講演会「ストレスと心の健康」講師 榎本和氏
平2	大府小学校校門にてあいさつひと声運動
平2	市制20周年記念防災訓練親子ふれあい写生大会

大府市のあゆみ	
昭58	大府コミュニティ推進協議会発足
昭58	第1回福祉展開催
昭58	県立大府東高等学校開校
昭59	長草公民館開館
昭59	保健センターを新築移転開設
昭60	市制15周年
昭60	大府市民体育館開館
昭61	第1回大府シティマラソン開催
昭61	行政改革大綱策定
昭61	横根公民館開館
昭62	「健康づくり都市」を宣言
昭62	大府駅開業百年サマーフェスティバル開催
昭62	吉田児童老人福祉センター開館
昭62	大府市民健康のつどい開催
昭63	住民情報システム稼働
昭63	公共下水道供用開始(一部地域)
平元	石ヶ瀬会館開館
平元	東山小学校開校
平元	東部知多クリーンセンター竣工
平2	市制20周年
平3	勤労文化会館開館
平3	桃山公園風車ミニメント完成

日本・世界のあゆみ	
昭58	東京ディズニーランド開業
昭58	戸塚ヨットスクール事件
昭58	参議院議員全国区で比例代表制導入
昭58	任天堂ファミリコンコンピュータ発売
昭59	グリコ森永事件
昭60	プラザ合意
昭60	日航ジャンボ機123便御巣鷹山に墜落
昭61	男女雇用機会均等法施行
昭61	チェルノブイリ原子力発電所事故
昭62	国鉄分割民営化 J Rスタート
昭62	N T T株上場
昭62	世界人口50億人突破
昭62	ビールドライ戦争
昭63	ふるさと創生1億円
昭63	瀬戸大橋開通
平元	牛肉オレシン自由化交渉日米間で合意
平元	昭和天皇崩御
平元	名古屋で世界デザイン博覧会開催
平元	消費税スタート
平2	ベルリンの壁の撤去が始まる
平2	東西ドイツ統一
平2	国花と緑の博覧会開催

大府コミュニティ推進協議会組織図



大府コミュニティ 歴代会長の紹介



初代
鷹羽益一 S58.7～



第2代
祖父江利多郎 S61.4～



第3代
鷹羽又夫 S62.4～



第4代
犬塚久夫 H2.4～



第5代
山田徳男 H6.4～



第6代
加藤金松 H9.4～



第7代
鷹羽秀信 H12.4～



第8代
鷹羽専八 H16.4～



第9代
齊藤重子 H17.4～



第10代
深谷 貴 H19.4～

大府コミュニティ 歴代役員(平成16～25年度)

	副会長	監 事	調査広報	交通防犯	家庭教育	環 境	健 康	文化福祉
平成16年度	齊藤重子 渡邊和夫	山田徳男 花井秋子	鷹羽孝男	伊藤賢治	鷹羽靖鉦	深谷 貴	鈴木善広	角田春子
平成17年度	深谷 貴 伊藤賢治 村瀬信良	山田徳男 花井秋子	鷹羽孝男	伊藤賢治	鷹羽靖鉦	渡邊和夫	鈴木善広	角田春子
平成18年度	深谷 貴 伊藤賢治 藤田 守	山田徳男 花井秋子	鷹羽孝男	伊藤賢治	鷹羽靖鉦	渡邊和夫	鈴木善広	角田春子
平成19年度	鷹羽孝男 加古 卓 吉村英郎	山田徳男 花井秋子	深谷 豊	伊藤賢治	鷹羽靖鉦	桜井義道	鈴木善広	角田春子
平成20年度	鷹羽孝男 加古 卓 吉村英郎	山田徳男 齊藤重子	深谷 豊	鷹羽孝男	鷹羽靖鉦	桜井義道	鈴木善広	見神万智子
平成21年度	加古 卓 吉村英郎	齊藤重子 鷹羽孝男	事務局 山本正清		加古 卓	桜井義道	鈴木善広	見神万智子
平成22年度	加古 卓 加藤正一	齊藤重子 鷹羽孝男	事務局 山本正清		深谷 豊	桜井義道	鈴木善広	見神万智子
平成23年度	伊藤政昭 日高 淳 加藤正一	齊藤重子 鷹羽秀信	広 報 藤田 守		深谷 豊	桜井義道	鈴木善広	山崎千晶
平成24年度	伊藤政昭 犬塚芳克 大島眞二 古市晃久	齊藤重子 鷹羽秀信	広 報 藤田 守		深谷 豊	桜井義道	鈴木善広	山崎千晶
平成25年度	伊藤政昭 犬塚芳克 大島眞二 鈴木善広	齊藤重子 鷹羽秀信	広 報 藤田 守		田中秀卓	桜井義道	鈴木善広	山崎千晶

全体活動

コミュニティ運動会



7名	1	2	3	4	5	6
名	大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童	大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童	大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童	大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童	大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童	大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童 大府小学校児童
点	50	40	30	20	10	0



11月に、大府小学校のグラウンドで、児童からご老人まで体力に合った種目を設定して、家族・地域の人が参加する楽しい運動会を開催しています。

コミュニティ総会



4月に過去1年間の活動結果と決算を報告し、本年度の活動計画の承認をいただきます。

大府夏まつり



8月上旬に大府駅東口を中心に大府夏まつりが開催されます。盆踊りやイベントを楽しむ人や、屋台で買い物などを楽しむ子どもたちの明るい笑顔が見られます。

広報部会

広報誌「ふれあい」で、地域の情報を発信しています。



家庭教育部会

私たち家庭教育部会のメンバーは、おはようあいさつ運動、非行防止地区集会、青少年健全育成のつとめ、愛のパトロールなど、地域のおじさん・おばさんとして、青少年の非行防止と健全な育成を進めています。

青少年健全育成のつとめ



大道芸

おはようあいさつ運動(大府小学校)



マジック



おはようあいさつ運動(大東小学校)



太陽電池でミニソーラーカー作り



ホットロッドカー作り



スカイスクリュウを飛ばそう



環境部会

私たち環境部会は、美しいまちづくりのために、530(ゴミゼロ)運動や緑花活動、大府夏まつりクリーン作戦班等の活動や事業を推進しています。



大府公民館まつり



クリーン・アップ・ザ・ワールド



530(ゴミゼロ)運動



緑花活動 春季・秋季



大府夏まつりクリーン作戦班



緑花活動 春季・秋季

健康部会

私たち健康部会は、健康都市大府の礎となるように、運動やレクリエーションスポーツなどの活動を通じて、コミュニティの皆さんとのふれあいや健康を推進しています。

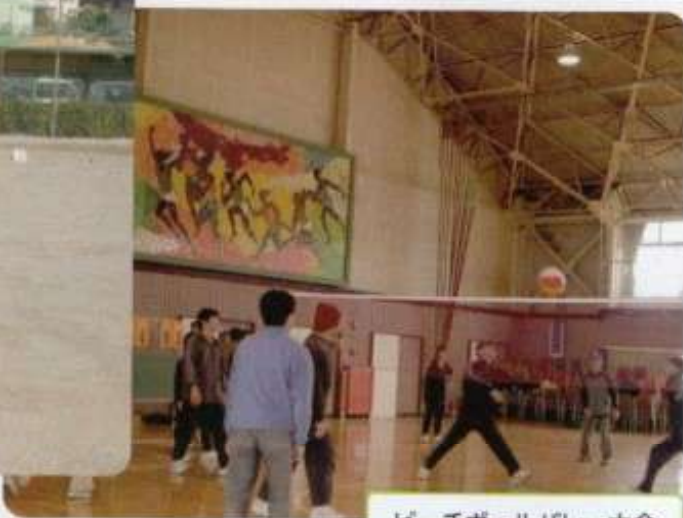
大府コミュニティ運動会



インディアカ練習風景



グラウンドゴルフ大会



ビーチボールバレー大会

文化福祉部会

文化福祉部会は、①福祉施設などへの慰問 ②夏まつり盆踊り講習会の開催 ③地域文化を知るための研修など、元気いっぱい地域の活動を推進しています。



2009年8月 夏まつりパレード



夏まつりの片付け



2010年7月 片男波部屋(熱田神社)訪問



2011年6月 ネットワーク大府見学



2012年11月 ルミナス大府慰問



2007年10月 ルミナス大府慰問



2006年8月 大府中での太鼓練習



みなさんの笑顔がいっぱいです

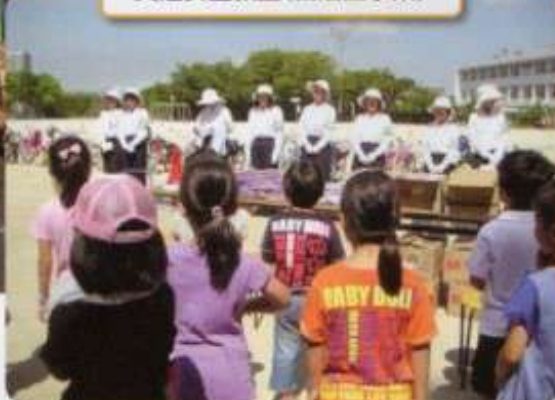
地域活動

大府コミュニティは、大府自治区の活動や大府公民館事業などについても、地域活動として積極的に協賛・参加しています。

自転車盗難防止キャンペーン(自治区事業)



交通安全教室(自治区事業)



大府公民館まつり



防犯パトロール



大府公民館芸能祭



愛のパトロール



青色パトロール隊(自治区事業)



青少年健全育成フォーラム

「大府コミュニティに期待すること」

大府自治区 区長 吉村英郎



私たちが住むまち「昼間に地域にいないことによるご近所との係わりの希薄化」、「住民の頻繁な入れ替わりによる地域への愛着心・帰属意識の低下」、「地縁的関係を志向しない住民の増加」、「車社会の進展による生活圏の拡大」等、多種多様な生活へと変貌してきています。こういった社会の時流に対応したコミュニティの活動が、今強く求められています。

大府市によると、コミュニティの目的は「従来から住んでいる住民と新しく転入してきた住民、また若年層から高齢層までの交流を促すための事業を中心に行う組織」と記しています。大府コミュニティは、今こそ原点に立ち返り、日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験を通してお互いの繋がりや信頼関係を築きながら、自分たちが住んでいる地域を皆の力で住み良くしていくことが肝要です。

大府コミュニティの活動と、大府自治区が進める区民の安心安全の為の生活環境・交通・防犯・防災活動を、地域の各種団体の協力を得て一丸となり「安全で安心して暮らせる住み易いまちづくり」を進めてまいりましょう。

「大府コミュニティについて」

大府自治区 前区長 鷹羽秀信



大府市のスローガンに、「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」とあるように大府コミュニティの基本は、大府市のスローガンに基づいて事業を展開するのがその役割ではないでしょうか。自治区は行政に関する事業を遂行する。コミュニティは文化・交通・福祉に関する事業を展開して、町を活性化して住み良いまちづくりを目指して発展していきたいものです。

それには単独ですべては効果が小さいので他の協力団体と共に町づくりを進行していきたいものです。それは、婦人会・老人会・子ども会・商店会・消友会等各種団体が大府市のスローガンに基づいて活動することが町の発展につながって行くと思います。その一つが納涼夏まつりではないでしょうか。区民の心が一つになって楽しむ光景はまさに町づくりの心髄ではないでしょうか。

今後とも、住みよいまちづくりに区民一つになって協力していきましょう。

「大府コミュニティと私との係わり」

大府コミュニティ 監事 齊藤重子



私は、平成元年に婦人会の役員として、コミュニティに入れていただきました。その後7年間3人の会長の元で副会長として携わり、平成17年に会長としてお話がありました。

その時主婦として家の事もあり、また私の性格では出来ない、ましてや「会長などという役は女性では到底できない。」とお断りしましたが、この大府で生まれて地域の皆様に育てられて今日の私があると思ひ少しでもお役に立てて恩返しができればと、平成17年18年と2年間会長を務めさせていただきました。この会長を務めることができましたのも、多くの方々に支えられ助けられたからこそと、心から深く感謝しております。

その間夏まつりに中学生さんのボランティア参加を始め、知多メディアスの2時間30分の生放送、25周年にはプロの民謡歌手の川崎千恵子さんを招いて盛大に行われ、会長としては無事故である事を願って緊張した事など、深く思い出に残っております。25年間大府コミュニティは私にとってかけがえのない大切なものとなりました。

コミュニティは「安全で安心して住めるまち」でありますように愛のパトロール、青色パトロールなど行っています。これからも多くの若い方々が入っていただき大いに活躍していただくことを期待しています。

「大府コミュニティと私との係わり」

大府公民館 前館長 加納達也

大府コミュニティ推進協議会設立 30 周年おめでとうございます。

私は、わずか 3 年間一緒にさせていただいただけでしたが、その間「深谷会長」よりの確なご助言をいただき、コミュニティと公民館は一心同体であるとの教訓で活動をさせていただきました。

昨年深谷会長は、「アキレス腱断裂」という重傷を負いながら、地域のために「松葉杖」姿で活動されていた姿を間近に拝見させていただいた際には、私自身への「叱咤激励」と受け止めていました。＜その姿は感動的でした＞

地域と密接にかかわった行事をされているコミュニティ。楽しく快適なまちづくりには不可欠な存在（組織）であるコミュニティ。皆様も、ご自分のため・家族のため・地域のためコミュニティ活動に積極的に参加され、今後 40 周年・50 周年へと更なる飛躍を遂げられますことをご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

「大府中と大府コミュニティ」

大府中学校長 平下佳明

「夏まつりの二日間、中学生がボランティアスタッフとして活躍の場をいただいています。温かい声をかけてあげてください。」櫓の上からあいさつをして、まつりの様子を眺めると、そこには意欲に満ちた中学生の姿がそこかしこに見受けられました。櫓の上で太鼓を叩く生徒、浴衣姿で輪に入り盆踊りを踊る生徒、ゴミ袋を片手にごみの収集を手伝う生徒など、二日間で 200 人近くの生徒が活躍した夏まつりでした。

関わる大人の数が年々少なくなっていく昨今、「大府中の生徒は幸せだな」とコミュニティの行事に参加するたびに感じます。大府コミュニティは、夏まつりを筆頭に、緑化推進事業やコミュニティ運動会など、中学生がボランティアスタッフとして参加させていただく行事が数多くあります。子どもたちの道徳性や社会性は、親や学校の先生だけではなく、多くの地域の方々に関わっていただくことで、育れます。これからも、地域の担い手となる中学生を鍛えていただきますようお願いいたします。

「大府コミュニティとの思い出」

大府商工会議所 大府支部 支部長 伊藤啓信

私が大府コミュニティに初めて参加したのは、昭和 60 年でした。大府小の PTA 役員として部員になったのですが、公民館まつりや運動会に参加した思い出があります。

その後もいろいろな部会に何かしら所属していました。ことに夏まつりはほとんど現在までかかわって、夏バテした思い出も数々あります。

6 年前に商工会議所支部長の職責に就き、来賓として案内があつたりしますが、やはり一部員の方が性に合っていると思います。最近では、浜松花博や伊勢神宮初詣などのバスツアーに参加したことも、楽しかった思い出です。

今後も大府コミュニティが益々発展していくことを祈念いたします。

「これからの大府コミュニティに期待させていただくこと」

大府公民館長 久野義鎮

このたびは、大府コミュニティ 30 周年、誠におめでとうございます。

私が、大府公民館の館長として赴任してから二つの季節が流れました。その間、大府コミュニティ推進協議会の皆様の多彩なご活躍を見せていただくにつけ、その高い志や精力的な活動にただただ頭が下がるとともに、豊かな地域社会をつくるためには、行政だけでなく、地域の皆様のご活躍が必要不可欠であることを改めて実感させていただいております。

昨今、日本全国で、地域の活動へ参加される皆様の高齢化や、地域のつながりの希薄化が深刻な問題となっております。これは、大府市においても例外ではありません。コミュニティ活動は、地域の皆様をつなぐ活動の中心的存在です。この素晴らしい活動が今後ますます活発となり、子どもの世代、孫の世代へと未来にわたって受け継がれ、様々な世代の皆様によって支えられるものになることを心から願っております。

「大府コミュニティと自分との関わり」

大府消友会 会長 近藤 寛



30 周年の記念すべき歩みの年を迎える、大府コミュニティの皆さま方に、心からお祝い申し上げます。

私たちは、大府消友会（この会は大府消防友の会と称します）は、現大府消防分団員の経験者で、主旨に賛同する会員で構成しております。

コミュニティとの協同活動では、夏まつりでの警備、非行防止愛のパトロール（青パト防犯も含む）また防災、防火の訓練など、様々な活動を通し、後押しさせていただいております。

しかし、私を含め各部員様が高齢になり人集めに苦慮しております。若い人が入会し会の運営がスムーズに行えるよう願っております。

限られた人員ではありますが、これからも大府コミュニティの活動に協賛し手助けしたいと思います。

「大府コミュニティと自分との係わり」

大府婦人会 会長 川口雅子

30 周年を迎えられる事、お喜び申し上げます。

三人の子ども達がコミュニティ運動会に参加する様になってその存在を知る事になりました。町内対抗のリレー選手、金管バンドのパレードと、親としてとても忘れがたい思い出です。私自身の事では地区の組長さんから賞品が良いので是非参加するように言われ、タガ回し、保育園児との競技にも参加し、ある年は借物競争で中学生の男子を借物しキを切らしながら一緒に走り、一等を得た楽しい思い出もあります。

夏まつりには毎年婦人会が冷たいお茶の接待でよく冷えるようにとカチ割り氷を作ってお茶に入れ踊り手の皆さん、一般の方々にも喜ばれています。

婦人会員も毎年盆踊りパレードに参加し、他地区の応援を得て 70 名近くの人々が各地区の法被を着て（黄赤グリーンブルー）踊りを楽しませて頂いています。

コミュニティも立派に地域に根を張り、大木に育ちました。これからも、もっともっと大きく育つように皆で協力しあいながら見守りたいと思います。

「大府コミュニティとの思い出」

大府商工会議所 女性会 加藤明美

私は家庭教育部の一員として 12 年、夏まつり委員として 4 年参加しています。大府小学校の校門で登校する生徒に「おはようございます」と挨拶をするあいさつ運動、夏まつりではやぐらの紅白の布の準備、片づけ、盆おどり、翌日の公民館での紅白の布をしまう等のお手伝いをしています。

「おはようございます」と挨拶をする日は第 1 月曜日です。子ども達は私の子ども達が小学生だった頃と同じように、ランドセルに体操服や給食用品などの袋をいっぱい、ぶらさげて登校してきます。大きく元気な声、少しはさかしそうな声、まだちょっと眠たそうな声など様々な声で挨拶をしてくれます。校門から見える道路には交通当番をしているお母さんたちの姿があります。校長先生はじめ、先生方も私達と一緒に生徒に声をかけてくれます。

夏まつりは子ども達が小さい頃は祖母に手を引かれ、少し大きくなってからはそれぞれ浴衣を着て友人と出かけ、子ども会では大きな七夕飾りを作りました。子どもたちの成長と重なる大府夏まつりに今年は孫達が盆おどりを見にきました。

私の参加しているのはそれぞれの部会のほんの一部ですが、コミュニティ会員さんが長年積み上げてきた活動の歴史と、地域への熱い思い、たくさんの人たちの支えあいと助け合い、笑顔が世代間の交流を紡ぎ合っているいろいろな行事を成功させていることを活動に楽しく参加させていただくなかで改めて実感しました。



「大府コミュニティと自分との係わり」

大府地区とうちゃんソフトボール 運営委員長 大島一巳

私が大府コミュニティに係わるようになったのは、結婚後近所の人からとうちゃんソフトボールに誘われたのがきっかけで、とうちゃんソフトボールを通じて毎年コミュニティ活動に参加するようになりました。

緑花推進事業で花植えをして街の美化を楽しみながら手伝ったり、夏まつりでは交通警備をして市民の安全を守ったり、公民館まつりでは金魚すくい、綿菓子売って可愛い子ども達の喜ぶ顔が見えたり、コミュニティ運動会では器具係等で運動会の進行のお手伝いをして楽しい運動会に参加させて頂きました。

今後ともとうちゃんソフトボールを通じて、大府コミュニティ活動が40年、50年と地域に密着して発展していく様に係わって行きたいと思います。

「大府コミュニティと自分との係わり」

スポーツ推進委員 川口美代

大府の住人になって18年目です。小学1年生だった子どもも社会人2年目を迎えています。子どもたちが小さな頃は、夏まつり、運動会、公民館まつりと毎年参加させて頂き、気軽に声をかけて頂いたりし、子どもと共に楽しませてもらいました。子どもたちも大きくなり、学生時代は、大府を離れてしまうと、私の足もコミュニティの行事から遠ざかってしまいました。

しかし、9年前にスポーツ推進員になり、健康部会の一員としてコミュニティの行事に携わることになりました。仕事をしながらのコミュニティ活動のお手伝いしかできない状況ですので、本当に微力で申し訳ないくらいです。

今は、運動会の計画・運営に係わらせて頂いております。コミュニティの皆さんは、とても積極的に、又前向きに活動されています。見習っていきたいところが沢山あります。今後ともコミュニティに係わりながら、多くの方々とお知り合いになればいいなと思っています。

「これからの大府コミュニティに期待すること」

大府コミュニティ 鷹羽孝男

私は、大府に生まれて大府以外ではほとんど住んだことがありません。ある方の紹介で、コミュニティの活動に参加するようになったのは27年程前からです。当時はとうちゃんソフトや大府婦人会など多くの団体の皆様の協力により運動会や夏まつり、ゴミゼロ運動などの企画を実施する計画案を作るのに過去の資料がなく、頭を悩ませて活動したことを覚えています。

今現在、コミュニティは街の防犯、子ども達の健全育成、街の活性化等多方面に亘り一定の役割を果たしています。これからの課題があるとすれば、新しく大府に引っ越してみえた皆さんの参加をいかに増やしていくか。30代、40代の皆さんにいかに協力してもらうか。そしてまちづくりのプロである行政マン、そしてOBに参加協力してもらう等、人づくりではないかと思います。この人づくりこそ大府住民の幸せづくりにつながると考えます。

昨年度にて、私はコミュニティ役員を一区切りさせて頂きましたが、今後とも一住民として協力していきたいと思っています。

「創立30周年に寄せて」

大府コミュニティ 事務局長 山本正清

「ふれあい、かるがも、かたらい、ふるさと、やすらぎ、けんこう」これらは創立当初の部会の名前です。順に、広報、家庭教育、文化福祉、環境、交通防犯、健康部会です。いずれもユニークで気持ちが伝わってきます。

また、事務局に創立当時の様子が分かる記録が残っています。地域住民への意識調査の集計です。これを見ると当時の産みの苦しみと同時に創立への意欲が感じられます。

現在の大府は、当時とは比較にならないほど質量ともに変化多様化しています。夏まつりひとつとっても、市民ホール周辺で、地元の商業団体「協同組合」の声がけで「大府音頭」ひとつで始まった盆踊りが、「大府ばやし」「大府小唄」を加え充実。最近では、地域のニーズに応じて近代ダンスや和太鼓が祭りを盛り上げています。一方、中学生ボランティアの活躍も目覚ましく、ゴミ処理班を始め、イベント班、太鼓班、踊り班などで活躍、大府夏まつりの将来に期待を持たせています。



編集後記



平成15年に大府コミュニティ推進協議会の創立20周年を迎えてから早や10年、このたびめでたく30年目の節目を迎えることとなりました。本当に時の経つのは早いものです。

その間に世の中もめまぐるしく変わり、いろいろな出来事がありました。平成17年の愛・地球博開催や、平成23年の大東小学校開校、そして2020年の東京オリンピック招致決定などの明るい話題も多くありましたが、平成20年のリーマンショックや平成23年3月の東日本大震災など、先の見えない、将来が不安に感じるような出来事も多くありました。

大府コミュニティ地区については、利便性が評価されることなどによって人口は順調に増加しております。しかしその一方で、着実に進行する高齢化や地域の連帯感の希薄化、自治会加入率の伸び悩みなど、社会情勢や生活様式の変化などによる数多くの問題を抱えています。

このような状況の中で、大府コミュニティ推進協議会の皆さんが地域に対する熱意を結集させ、「平和なまち・住みよいまち」を目指して、コミュニティ活動を継続してきたことが、現在のコミュニティを支えていると強く感じています。

大府コミュニティ推進協議会の創立30周年を迎えるにあたり、これからも大府市の明るい未来が末永く続くことを願い、編集後記とします。

30周年事業実行委員長 会長 深谷 貢

事務局 山本正清
佐竹 勲
久野千万代
恩田 彰子

事業部会

犬塚 芳 克
鈴木 善 広
桜井 義 道
長坂 道 昭

式典部会

伊藤 政 昭
山崎 千 晶
深谷 豊
田 中 秀 卓

記念誌部会 編集委員

大島 眞 二
藤田 守
佐竹 勲
山本 正 清
近藤 清 子
近藤 重 基



市の木 クロガネモチ



市の花 クチナシ

大府市民憲章

わたくしたち大府市民は、限りない市の発展に
願いをこめて、市民憲章を定めます。

(昭和46年9月1日制定)

1. ^{しぜん}自然を^{あい}愛し、^{うつく}美しい^{きょうど}郷土をつくりましょう
1. ^{きょうよう}教養を^{ふか}深め、^{ゆた}豊かな^{こころ}心を^{そだ}育てましょう。
1. ^{けんこう}健康で^{かてい}しあわせな家庭をつくりましょう。
1. ^{しごと}仕事に^{ほこ}誇りを^も持ち、
^{しゃかいじん}りっぱな社会人になりましょう。
1. ^{まも}きまりを^{あか}守り、^{へいわ}明るい平和なまちをつくりましょう。

大府コミュニティ創立30周年記念誌「絆(きずな)」

発行 大府コミュニティ推進協議会

発行者 深谷 貢

発行日 平成25年11月30日

印刷 株式会社 愛知印刷工業